



『愛される企業と地域を未来に伝えるタグボード（牽引船）となり、経営者を創出し続ける』

OJBひるば



一般社団法人
大垣青年重役会

第49年度 第8号
平成27年 3月25日発行

<http://www.ojb.jp>

ステージ

第49年度スローガン **次の舞台に上がる**

とことこまっすぐ

第49年度3月例会 オープン例会

演題 『スポーツマンのこころ ～生きがい感と自尊感情を育むには～』



吉田大助会長挨拶

トップアスリートが常識と認識している考え方をスポーツ精神医学領域研究で実証されたお話を拝聴する事ができました。経営者としての心構えについても通じるどころがありました。



講師紹介をする
上野和幸会員



司会をする
清水裕雅会員



◎講師 岐阜経済大学経営学部教授
岐阜経済大学サッカー部監督
高橋正紀先生

◎ところ 大垣フォーラムホテル
◎とき 平成27年3月9日(月)
◎出席者 50名
(会員38名 特別会員1名 一般11名)



「スポーツは経営と同じ」

西野 英乙

高橋先生にはスポーツというものを通じて経営や人材教育の考え方を教えていただきました。

スポーツはゲーム。ゲームは楽しさと競争がルールのもとで行なわれる。楽しむために大切な自分を磨く鍛える。挑戦し乗り越える、決して諦めない逃げない心を育てる。この過程が経営の過程と同じ意味が有り成功は、この先に必ずあると確信いたしました。

経営者や経営幹部の役割は従業員が頑張っている過程をいかに我慢強く背中を押してあげるか。そして従業員の「出来た」や「嬉しい」が次のスタートに繋がり、成功への過程を自分も一緒に歩む事だと教えて頂きました。又自分と同じように経営に取り組む仲間を自分と同じように大切に思う気持ちや『仲間のために』を大切に出来る心は自分の楽しい経営に不可欠である事も教えて頂きました。現在のOJBの仲間とも成長する過程を共に乗り越えながら自己の成長に繋げていきます。ご講演ありがとうございました。



「スポーツのこころ」 の講演を拝聴して

中島 繁樹

縁あって、サッカー少年団に関わらせていただいております。指導するにあたり、子供たちにどのように指導したら真剣に練習に取り組んでももらえるか悩みの種だったため、何かヒントがいただけるかなと思って高橋先生のお話を楽しみにして例会に伺いました。

少年時代のサッカー人生は日本のスポーツ界の典型的な考え方の試合に勝つことだけを求めるゆがんだ価値感の中で過ごしてきたなと思います。好きなのに、自分がやりたいと思ってるのにやらされてる感じが、失敗も怖くて挑戦する気持ちも忘れてしまいで楽しんでませんでした。

現在は、先生のおっしゃる非日常のサッカーというゲームを楽しむことができているなと感じました。時間、環境、仲間が揃い、自分の身体も何とか動きます。本当に周りに支えられながら出来ているという感謝の気持ちで一杯です。こんな気持ちを子供たちに伝えていければいいのかなというヒントがいただけました。

そして、スポーツという非日常とOJBでの研修が共通しているなと感じました。昨年度に親睦委員長をやらせていただきましたが、少年時代の自分同様に失敗を恐れ、挑戦する気持ちを忘れ、楽しむことを忘れていたように思います。今までの自分はスポーツもOJBも失敗することに対して世界の終わりまでではないですが、それに近い恐れがありました。この二つは日常ではなく非日常の活動であり、真摯に向き合った失敗であれば、この結果も日常の自分の糧になります。

今後は過去を振り返ることも大事ですが、この先の未来をどうしていくかという考えを持って、失敗を恐れず楽しんで日常も非日常も活動していこうと思います。先生、ありがとうございました。

例会を振り返って



実体験をもとにわかりやすいご講演でした。

スポーツは、非日常の事であり、もともと楽しむものである。
出来ない事がダメではなく、出来ないときにどんな風にアプローチをする
のが大切。あきらめない心が大切。そして、非日常と日常との切り替えをする。
自分を大切にすると、今、置かれている環境をありのままに正しく理解して
感謝し、行動に移していくことが人間性を高めていくことになる。



オープン例会により、一般の方にも聴講いただきました。

例会で話題になった

ビクトール・E・フランクってどんな人？『夜と霧』とは、どんな本？

ヴィクトール・エミール・フランク (Viktor Emil Frankl, 1905年3月26日 - 1997年9月2日) は、オーストリアの精神科医、心理学者。著作は多数あり日本語訳も多く重版されており、特に『夜と霧』で知られる。
ウィキペディアより抜粋

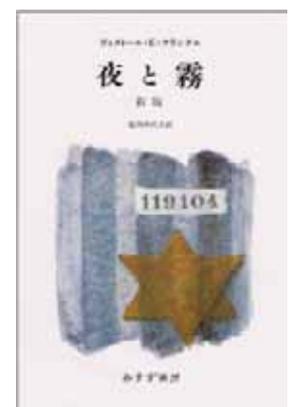
ユダヤ人精神分析学者がみずからのナチス強制収容所体験をつづった本書は、わが国でも1956年の初版以来、すでに古典として読みつがれている。著者は悪名高いアウシュビッツとその支所に収容されるが、想像も及ばぬ苛酷な環境を生き抜き、ついに解放される。

家族は収容所で命を落とし、たった1人残されての生還だったという。

このような経験は、残念ながらあの時代と地域ではけっして珍しいものではない。収容所の体験記も、大戦後には数多く発表されている。

その中であって、なぜ本書が半世紀以上を経て、なお生命を保っているのだろうか。今回はじめて手にした読者は、深い詠嘆とともにその理由を感得するはずである。

著者は学者らしい観察眼で、極限におかれた人々の心理状態を分析する。なぜ監督官たちは人間を虫けらのように扱って平気でいられるのか、被収容者たちはどうやって精神の平衡を保ち、または崩壊させてゆくのか。こうした問いを突きつめてゆくうち、著者の思索は人間存在そのものにまで及ぶ。というよりも、むしろ人間を解き明かすために収容所という舞台を借りているとさえ思えるほど、その洞察は深遠にして哲学的である。「生きることからなにを期待するかではなく、……生きることがわたしたちからなにを期待しているかが問題」というような忘れがたい一節が、新しくみずみずしい日本語となって、随所に光をおびている。本書の読後感は一手記のそれではなく、すぐれた文学や哲学書のものであろう。



～「夜と霧」の商品説明より抜粋～

第2回講師を囲む会

と き：3月9日（月） 21：30～23：00
場 所：奏音（かのん）
参加人数：30名

例会に引き続き、高橋先生のお話を聴く事ができました。



挨拶をする
上野和幸会員



締めの挨拶をする
加納浩二会員



会員委員会
担当例会お疲れ様でした

第3回研修委員会

と き：3月16日（月） 19：00～21：00
場 所：岐阜経済大学 6号館 1階 6102号室
参加人数：24名

テーマ 『大垣市財政の現状と今後の展望』



吉田大助会長
の挨拶



講師：岐阜経済大学 経済学部講師
藤井 えりの 先生

現在の大垣市の財政状況を学ぶ事ができ、
今後、大垣市の取り組む課題を考える事ができました。
また、大垣市長に今後、提出される貴重な資料を
いただくことができました。



趣旨説明をする
片桐大介会員



司会をする
高嶋啓一郎会員



最後の質疑応答で質問をする会員



大垣市の概要を説明する岐阜経済大学
藤井ゼミ 山田晃広さん



お礼の挨拶を
する北野英樹会員

- 北野英樹会員 先月の総会にて第50年度会長に承認していただきありがとうございました。
一生懸命つとめさせていただきます。
- 大橋誠治会員 第50年度副会長を皆様にご承認賜り誠に有難うございました。身が引き締まる思いであります。
職務任務を通じて学ばさせていただきます。有難うございました。
- 平野宏司会員 創立50周年記念事業実行委員長にご承認いただきましてありがとうございました。
一生懸命つとめさせていただきます
- 松本正平会員 創立50周年記念事業実行委員会の副委員長にご承認いただけました。
委員長をしっかり支えますのでよろしくお願い致します。
- 加納浩二会員 某ゴルフ場の某競技会で優勝しました。悪天候でしたが行ってよかったです。
- 上野和幸会員 大垣商店街で行われている「まちゼミ」にムトウさかやも参加しました。
第1回の「こうじ、酒粕で甘酒造り」は、23名の方に受講していただきました。
3/21(土)18:30～行う「初心者のためのワイン講座」まだ受講できますので
ご興味ございましたら、是非ご一報ください。
- 会員委員会 会員委員会担当例会無事終了することができました。ありがとうございました。
- 吉田大助会長 企業訪問に多くの方のご参加ありがとうございました。
3月例会を無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。

おしらせ

研修旅行 決定!

6月

京都・大阪方面

19・20日
(金・土)

研修先: SOU・SOU(京都)
地球洗い隊(大阪)

……詳しくは、次号ひろばにて

- ◎4月例会講師を囲む会(親睦委員会)
と き……4月9日(木) 21:30～23:00
と ころ……居酒屋 花子
大垣市新田町2丁目91番地
電話 0584-89-0875
会 費……2,500円
- ◎小川杯ゴルフコンペ(親睦委員会)
と き……5月18日(月)
8:15 集合
8:45 開会式・記念撮影
9:06 スタート OUT
9:20 スタート IN
16:00 表彰式
と ころ……養老カントリークラブ
大垣市上石津町堂之上1526-2
電話 0584-45-2330
会 費……6,000円
(プレー代等は実費精算してください)

話題にしてみませんか?あなたならどうする?

OJBを楽しむための
正解のない49の問い。

ANSWER

Yes No

- Q 27 次年度会長から、役員への誘いがある。
今後、わが社は新商品の展開で多忙となる。
役員を全うできるか心配ではあるが、研修を積んで自分
を成長させたい。役員を受諾する?
 - Q 28 ここ2年間役員を経験していない。
次年度はぜひ役員をやりたいと思っている。
次年度会長に自ら頼んでみる?
 - Q 29 OJBの会長になりたい?
- あなたは、今年度の役員です。 —
- Q 30 役員会で今年度の研修旅行については、会長の希望する島根
県松江市に決めたいので、恒例の、旅行先候補地についての
会員向け事前アンケートはしない方向で審議が進む。
一般会計から補助金も出るので、全体アンケートを取るよう
異論を唱える?
 - Q 31 役員会の席上、会員委員会から提出された会員向け資
料の内容で論議が紛糾。
このままでは、決まりそうにないので、会長に判断し
てもらうのがよいと思い、『会長一任!』と発言して、
会長に判断を委ねる?